

(仮称) 三軒屋公園等複合施設に係る市民説明会結果概要

- 1 日 時 令和6年3月3日(日) 午前10時~正午
- 2 場 所 東北コミュニティセンター 3階ホール
- 3 参加者 74名
- 4 結果概要

- ・ (仮称) 三軒屋公園等複合施設を整備することに至った経緯や、これまでの検討状況について説明するとともに、今後、市民の意見を伺いながら進めることとした旨を説明した。配布資料については別添参照。以下はその後の質疑応答。

(○：参加者からの意見、→：市の回答)

- 昨今、市民参加・市民主体のまちづくりと言われている中、本事業については足りないのではないか。また、いつどのように市民アンケートやグループインタビューを行ったのか。
 - アンケートやグループインタビュー、意見募集を経て基本計画を策定したが、確かに市民参画の部分は不足していたところがあるかと思う。そのため、今回の説明会を第1回目として開催し、今後も丁寧に意見を聞きながら進めていきたい。

なお、市民アンケート調査は2022年8月に東北、東、北野にお住まいの方から1,000名を無作為抽出し、郵送にて実施した。グループインタビューは2022年10月に東北コミセン利用者、保育園、障がい者団体、立教大学の学生の4団体に対し実施した。
- これまで本複合施設の計画について注視していて、パターン1の内容で進むものかと思ったが、ここにきて第2・第3の案が出てきたのはどういうことなのか。
 - 理由の一つは、費用が約35億円と高額となったこと、もう一つは未着手区域が解消できる可能性が生じ、前提が変わったため、様々なパターンを検討している。
- 三軒屋公園で夜間に酒を飲んで騒ぐなどの迷惑行為やスケートボードの騒音に悩まされている。新たに作る施設において、近隣対策はどのように考えているか。

→ 市としても現在の三軒屋公園において迷惑行為がなされていることは承知しており、新座警察署とも連携している。複合施設においては、夜間の侵入を防ぐことも含めて対策を検討していきたい。

○ 計画の資料が示されたが、予算がいくらかかるのか記載していないため、示してもらいたい。

→ パターン1についてはこれまで検討してきたものであり、整備費が約35億円となっている。他のそれぞれのパターンにおける費用については、今後試算し、示していく。予算の面や機能の面を含め、皆様からの意見を伺いながら最適なものを選択していく。

○ イメージ図を見ると、公園がちょっとした幼稚園児が遊ぶ場所になるように見え、残念である。7階の建物を建てるプランも挙げられていたが、どのような施設となるのか。

→ 平場の公園が欲しいという意見は参考にさせていただく。施設に入る機能は資料2のとおりである。パターン1～3のいずれも複合施設の面積は同じものとして設定している。

○ 施設の面積について、数字で書いただけでは分からない。東北コミセンと比較して、面積を増やしてほしい。

→ 面積は各団体からの意見をもとに必要な面積を設定したものである。意見募集の際は分かりやすいように配慮する。

○ 自宅のそばに、何も使われていない土地がある。地主を説得し、こういうものを活用して公園や森林を作ったらどうか。また、志木駅から東北コミセンまでつながる道（高架のもの）を企業と連携して作ったらどうか。

→ 土地を購入するには莫大な費用がかかり、地権者の意向もあるため難しい。志木駅南口の活性化については今後の課題として進めていく。

○ 東北地域は若い世代の方が多い中、乳幼児向けの子育て支援センターがない。今後の新座市の活性化のためにも、今回の複合施設に小さな子ども向けの施設を整備してもらいたい。

→ 東北地域に子育て支援センターがないことは承知している。今回の複合施設においては、子育て支援センターという機能にするのか、子どもたちが遊べる機能とするか、今後検討する中で参考とさせていただく。

- イメージ図を見ると、柵が低く、安全面や防犯面が心配である。また、内容として民間の提案によりカフェを入れるという話があるが、どのようなものか。
- 安全面については、絶対に転落等がないようなものを整備する。防犯面についても、夜間は少なくとも屋上の公園には入れないようにし、地上の公園については課題として今後検討していく。

カフェについては、図書室の本を読みながらお茶ができるものを想定し、オープンな図書室となることを期待しているが、あくまで民間の提案による。

- 今回の資料に面積表はあるが、平面図がないため、数字だけではイメージが分かりづらい。イメージ図においてもエレベーターの位置が分からない。また、面積表の下から4つ目の民間提案施設とはどんなものか。
- 意見募集の際にはもう少し分かりやすいように配慮する。イメージ図のエレベーターは、一番高くなっている部分に設定しており、公募においても必須として求めていく。民間提案施設は民間の提案により導入する機能・施設であり、200㎡を計上しているが、民間へのヒアリングにおいて導入は難しい、という話も出ている。

- 三軒屋公園がコンクリートの建物になってしまうことが残念である。空間として残してほしい。新座市はみどりのまちづくり条例もあることから、もっとこの公園を緑化して、憩いの場にしてみたい。
- 公園としてできるだけ平面的な空間ができるよう検討する。緑化については、現在の公園もコンクリートが多いものとなっているため、現状以上に緑が多くなるようにしたいと考えている。

- これまで図書室の早期整備を求めてきたが、市民参画についてもっと考える必要があると思った。各機能の面積についても、様々な意見を集約したものかと思っていたが、そうではない気がする。一度白紙に戻し、改めて検討し直してほしいと思うがいかがか。
- 面積については、ほっとぷらぎの機能を基に、皆さんの意見を踏まえながら設定したものである。ただ、条件が変わってきたことに加え、現在様々な意見を頂いていることから、改めて市民の皆様の見解を伺うこととした。今後意見募集により意見を頂きながら進めていく。

○ これまで何度も児童館の設置要望をしてきたが、設置されていない状況である。そう考えたときに、この場所は大事な場所であるので、子どものための場所ということを中心に考えてもらいたい。

○ 今日様々な意見が挙がったが、人によって温度差がある。これまでの市の周知が足りなかったのではないか。市全体に関わるものであるため、今度実施する意見照会は積極的にやってもらいたい。

→ 説明会をこれまでやってこなかったことについては反省している。これまでも意見は聞いてきたが、こうした形で改めて意見を伺うことは重要だと感じている。白紙撤回という意見もあったが、早く整備してほしいという意見もあるため、全くゼロからということは考えていないが、今後行う意見照会においてもいろいろな意見が出てくると思うので、進め方についても検討していきたい。

○ 本日説明会を実施していただき、また、市民の意見を聴くということで一旦立ち止まってくれたことに感謝する。

複合施設の整備までは時間がかかるので、暫定図書室についても考えてもらいたい。市民のための施設にしてほしいので、民間を入れるのではなく、公設公営で、みんなで協力していく施設にしてほしい。

○ 本日様々な意見が挙がったが、論点がいくつか分かれており、なかなか全て一緒に話し合うことは難しいと感じた。市の説明も不十分だと感じる。この説明会を開催したことは評価するが、前提条件を市民にしっかり説明した上で意見をいただいくべきである。意見募集を行うとのことだが、3パターンのうちどれを選ぶ、というものではなく、もっと丁寧に説明の上、実施してもらいたい。また、今後もこうした意見交換の場を改めて設けてもらいたい、いかがか。

→ 市民の皆様には分かりやすく説明した上で、意見を頂きたいと考えている。いつできるかは分からないが、なるべく早い段階で頂いた様々な意見・課題を市民の皆様説明し、それを前提として検討していきたいと考えている。

○ 白紙撤回はできない、という話があったがなぜなのか。

→ そもそもほととぶらぎの閉館時に、施設がなくなるのは困るという意見をかなりいただいている中で、スケジュールが大幅に遅れるということは避けたいと考える。必要な説明・意見はしっかりといただいて進めながらも、で

できれば早めの対応を心がけていきたいと思っているので、今の時点で白紙にすることは考えていない。

○ 白紙撤回できないなら、どのような案で進めていくのか。

→ 今回は大きく分けて3パターンとして示したが、これ以外にも様々なパターンが考えられるので、自由に意見を出してもらいたい。そういう意味ではゼロの状態かもしれないが、何もない状態からではないため、白紙撤回というのは誤解が生じる。これまでの検討もいかしながら進めていきたい。

以上